

## 2025年度入社式、新人研修を行いました。

2025年4月1日、2025年度入社式を行い、その後2日間にわたって新人研修を行いました。4月の新入職員は、38名でした。入社式は、職員代表の歓迎挨拶、新入社員代表による挨拶、理事長及び病院長の挨拶と続き、最後は、幹部職員及び新入職員で記念撮影を行いました。

新人研修については、4月1日から4月2日にかけて実施しました。当院では、医師、看護師をはじめ多くの職種の人が働いています。多職種の職員が互いに連携することで、安心で安全な医療の提供をすることができます。新人研修では、まず、福田病院にどんな職種があり、そこではどんな業務を担当しており、自分の仕事とどんな関わりがあるのかについて理解を深めてもらいます。職場紹介では、職場長等により、10分程度で、業務の内容や連携するにあたっての注意点等を簡潔に説明してもらっています。医療安全や感染対策、救急医療では、担当職員から重要なポイントについて説明を行いました。研修終了後は、各職場単位で研修を行っていきます。一日も早く、職場や仕事に慣れたいという、福田病院の貴重な戦力となって力を発揮してもらうことを期待します。



## 3月3日「ひな祭り行事食」

ひな祭りは「桃の節句」とも呼ばれており、桃の花が咲く時期の3月3日にひな人形を飾り、お子様の幸せと健やかな成長を願ってお祝いする日です。

福田病院では、地域文化交流会館「寿心亭」にて、桃の節句にちなみ「桃の節句御膳」をご用意いたしました。

お料理は春の食材のふきのとうや筍を使用した前菜、天ぷら、ちらし寿司、ハマグリのお吸い物、トマト鍋、甘味には葛大福と抹茶をお召し上がり頂きました。

会場には、雛段飾りと桃の花を飾り、琴の生演奏と共に楽しいひとときを過ごされました。



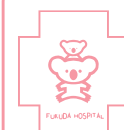
### 個人情報の利用について

当院がコアラジャーナル郵送のために預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの郵送の他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらかじめご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。

コアラジャーナル編集部

KOALA JOURNAL



コアラ ジャーナル  
KOALA JOURNAL

発行所 熊本市中央区新町2丁目2-6  
〒860-0004 電話 (096) 322-2995  
https://www.fukuda-hp.or.jp  
info@fukuda-hp.or.jp  
愛育会 福田病院

第478号 毎月1回 1日発行

### HPVワクチンをご存じですか？

小児科外来 看護師 主任 石田 美樹

澄み渡る五月晴れの爽やかな日がつくこの頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

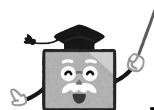
今回はHPVワクチンについてお話したいと思います。HPVとはヒトパピローマウイルスのことで、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスで子宮頸がんの原因と言われています。そのため、HPVワクチンを接種する事により、子宮頸がんが予防できると考えられています。

HPVワクチンは小学校6年～高校1年生相当の女子を対象に定期接種が行われています。接種回数は3回で、15歳未満で接種開始すると2回接種を選択することもできます。今年3月まで平成9年度～平成19年度生まれの女性を対象にキャッチアップ接種も行われていました。令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方は、令和8年3月31日まで残りの回数も公費で接種ができます。

当院の小児科外来でも10～20代女性のHPVワクチン接種を行っています。先日来院された10代後半の女性は接種前から不安そうな様子でも緊張されていました。話を聞いてみると「SNSでHPVワクチンのことを調べたら、痛みや副反応などの情報を見て怖くなった」と教えてくれました。私も実際検索してみたところ、「子宮頸がんワクチン打たないほうがいい・副反応・後悔」などの記事や動画ができました。10～20代の世代はSNSで情報収集する人が多いといわれています。SNSは欠かせない情報源である一方、情報が溢れているため正しい情報がわからなくなるといこともあります。接種をしたいけど不安・心配だなという方は、医師から説明を聞き不安を解消して接種されることをお勧めします。

HPVワクチンは子宮頸がんを予防するワクチンで男性には関係ないと思う方もいるかもしれませんが、実は男性にも関係のあるワクチンなのです。男性がHPVワクチンを接種する事により女性への感染予防、尖圭コンジローマなどの病気予防にも効果が

期待されます。しかし多くの男性はまだHPVを知らないのが現状のようです。国内で使用されているHPVワクチンには3種類(2価、4価、9価)ありますが、男性への接種が承認されているのは4価ワクチン(ガーダシル®)のみです。現在男性への接種は定期接種ではないため、費用は全額自己負担となりますが、接種に要する経費の補助がある自治体もあり、熊本県では高森町が助成を行っています。海外では男性も接種対象となっている国が増えており、定期接種となっているオーストラリアでは近いうちに子宮頸がんは撲滅される見通しとも言われています。私自身にも2人の息子がいますが、「ワクチンの事をよく知らないために接種しない」とはせず、正しい情報を知って接種をしてほしいと思っています。HPVワクチン接種を迷っていらっしゃる方は、ワクチン接種の検討をされてみてはいかがでしょうか？



ホームページ



LINE



Instagram



facebook



母親学級(各教室等)、マタニティスポーツやよちよちサークルの開催については下記へお問合せください。

●母親学級(各教室等)のお問合せ●

< ゆうかり倶楽部 >

【受付時間】9:00～17:00(日祝除く)

【ゆうかり倶楽部直通番号】TEL: 096-322-5116



KOALA JOURNAL